

令和8年度第1回奥州市総合計画審議会

議 事 録

奥州市政策企画部政策企画課

令和8年度第1回奥州市総合計画審議会 議事録

1 日時

令和8年4月28日（火）15時00分から16時05分まで

2 場所

奥州市役所本庁 7階 委員会室

3 議題

(1) 報告

- ・令和7年度行政評価（施策評価）の結果について
- ・次期奥州市総合計画に向けた市民アンケート結果について

(2) 協議

- ・次期総合計画の策定について
- ・奥州市総合計画審議会分科会の設置について

(3) その他

今後のスケジュールについて

4 出席委員及び欠席委員

(1) 出席委員 17名

- （1号委員）遠藤清逸、千葉憲雄、吉田あや子、渡邊美喜子、高橋一幸
- （2号委員）小野寺博一、菊池喜勢子、鈴木美喜子、千葉裕之、和川仁美、佐々木健一、菊地義行、早川浩子
- （3号委員）吉村武洋、森達也、小笠原久人
- （4号委員）及川麻梨絵

(2) 欠席委員 5名

- （2号委員）佐藤たき子、千田博文、後藤義幸
- （3号委員）山本健
- （4号委員）浅利智美

5 議事概要

(1) 挨拶

【市長挨拶（要旨）】

次期総合計画は、今後の奥州市のまちづくりの方向性を示す極めて重要な計画である。昨年度の基礎作業を経て、今年度から本格的な議論に入る。審議会に加え、新たに設置する分科会においても精力的な審議をお願いしたい。市民一人ひとりが未来に希望を持てる実効性のある計画となるよう、専門的な立場から大所高所での活発な議論を期待する。

【遠藤会長挨拶（要旨）】

新任委員を歓迎するとともに、新市長の就任に祝意を述べる。本日は行政評価や市民アンケート結果の報告を受け、意見交換を行う。今後の策定スケジュールはタイトになることが予測されるため、委員各位には専門分野のみならず、広範な視点での協議への参加をお願いしたい。

(2) 報告事項

① 令和7年度 行政評価・施策評価の結果について

事務局が、資料1に基づき説明。

後期基本計画の施策評価について、約6割の指標が概ね順調である一方、社会増減や出生数など構造的課題に直結する指標の未達成が顕著であること、指標設定の妥当性に一部課題が見られることなどが報告された。

<質疑・意見>

特になし。

② 次期奥州市総合計画に向けた市民アンケート結果について

事務局が、資料2に基づき説明。市民3,000人を対象に実施したアンケート調査の結果、暮らしやすいとの回答が5割を超えるものの前回調査より若干低下したこと、重点的に取り組む事項として「農業の担い手確保」「医療・保健サービスの充実」「子育て環境づくり」が上位を占めたことなどが報告された。

<質疑・意見>

【森委員】

市の年齢構成とアンケート回答者の年齢構成が異なるように思う。

【事務局（廣野政策企画課長）】

年齢による回答傾向に大きな変化はない。発送時は年代・地域に配慮したが、結果

として高齢層の回答が多くなった。若年層の意見は、今後の市民フォーラムやワークショップで重点的に吸い上げていきたい。

【吉村委員】

アンケート結果の今後の活用展望と、追加調査の予定は。

【事務局】

施策の優先度検討やアクションプラン策定に活用し、各課に結果の反映を求める。同様のアンケートは予定していないが、Web等を活用し、目指すべき都市像や施策のアイデア募集を検討したい。

【吉村委員】

市外・県外在住者の意見も何らかの形で補足してはどうか。

【事務局】

意見として承り、今後の参考にさせていただく。

【高橋委員】

アンケートの地域別回答割合は。市の人口比と概ね合っているか。

【事務局】

水沢 50%、江刺 23.4%、前沢 10.5%、胆沢 12.4%、衣川 3.4%であり、概ね人口比に沿っている。

(3) 協議事項

① 次期総合計画の策定について

事務局が、資料3に基づき説明。現行の3層構造（基本構想・基本計画・実施計画）から、新たに「長期ビジョン」と「アクションプラン」の2層構造へ見直すこと、アクションプランの計画期間を市長任期と連動させることなどが提案された。

<質疑・意見>

【鈴木委員】

社会変化が激しい中、長期ビジョンの計画期間を現行の10年から20年程度に延ばす理由は何か。

【事務局】

将来都市像など、普遍的で長期的な理念を据えるため。一方で、具体的な施策であるアクションプランは短期で見直し、時代の変化に柔軟に対応する。

【菊地委員】

アクションプランの構成案で「案①」が最善とのことだが、「案②」との違いは何か。

【事務局】

案①は施策の階層を減らし、よりシンプルにしたもの。階層を細分化しすぎると、施策（目的）が事務事業（手段）に近づきすぎ、形骸化する弊害がある。目的と手段の関係を明確にし、施策体系を改善するため。

【千葉委員】

「羅針盤事業」は計画のどこに位置づけられるのか。

【事務局】

羅針盤事業の取扱については、今後検討する。

なお、新市長のマニフェスト等については「重点施策」という形でアクションプランに反映させる方向で検討している。

【吉村委員】

長期ビジョンの骨子案が具体的すぎるのではないかと。より理念的な内容とし、AI や脱炭素といった具体的なテーマは、改定しやすいアクションプランに位置づける方が、変化の激しい時代に対応できるのではないかと。

【森委員】

一つの事務事業が複数の施策に貢献する場合、どのように表現するのか。

【事務局】

「再掲」などの方法で、複数の施策に関連付ける形で対応したい。

② 奥州市総合計画審議会分科会の設置について

事務局が、資料4に基づき説明。アクションプランの分野別議論を深化させるため、4つの分科会を設置すること、委員の割り振り案、今後のスケジュールなどが提案され

た。

<質疑・意見>

特になし。提案のとおり承認された。

(4) その他：今後のスケジュールについて

事務局が、資料5に基づき説明。

市民フォーラム（5月）、ワークショップ（6月）の開催を経て、8月上旬に当初案を取りまとめるなど、令和9年3月の計画公表に向けたスケジュールが示された。

<質疑・意見>

【吉村委員】

市民フォーラムやワークショップで提供するデータは、議論の基礎として非常に重要であるため、慎重に検討の上で提示してほしい。